

令和7年度 一宮市立丹陽小学校 グランドデザイン

《学校教育目標》 児童の能力と特性を生かし、心豊かにたくましく生きる丹陽の子を育成する。

【目指す児童像】

- よく考え行動する子 「よく考え、主体的に行動できる児童」
- 思いやりのある子 「きまりを守って、仲よく助け合う児童」
- 丈夫でたくましい子 「進んで、心や体の健康づくりに取り組み児童」

「笑顔 元気 心をこめて」を合言葉に 笑顔あふれる学校をつくりまします。

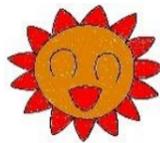
職員が、共に学び合う「学ぶティーチャーズ(まなティー)」の合言葉のもと、共通理解と協力体制を基盤としながら、「笑顔あふれる学校づくり」を推進します。

豊かな心の育成

仲間とのかかわりの中で、自他の命を大切にする心の教育をすすめ、豊かな人間性を育てます。

1 笑顔で生活できる学校・学級づくりや心の居場所づくり

- 教育活動全体を通した子どもたちへの肯定的な声かけ
- 児童一人一人を大切にされた教育活動
- あいさつ運動、ふわふわ言葉を広める運動



2 自己有用感や自己肯定感を高める教育

- 教育活動全体を通した認め、ほめる活動の充実
- 児童同士が互いに認め合い、尊重し合える場の設定
- ペア活動等の異学年交流の充実、運動会・丹小わくわくフェスタの充実

3 いじめの未然防止と早期発見、早期対応

不登校の未然防止と不登校児童への支援の充実

- 心のアンケート・心の天気などを用いた困り感を早期につかむ取組
- 教育活動全体を通した道徳教育
- スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーと連携した活動の充実

確かな学力の育成

言語活動を充実させた協働的な活動をすすめることで、互いに伝え合い、高め合う授業を構築し、仲間とともに学ぶ喜びを実感させ、確かな学力を育成します。

1 「分かる・できる・身につく」授業づくり

- 学習のルール・マナーの定着 「授業の10の約束」
- 基礎学力の定着 「漢字チャレンジ」「計算チャレンジ」
- 語彙力の向上 「辞書引き活動」「読書活動の充実」

2 言語活動を充実させた協働的な授業づくり

- 仲間と協働しながら学ぶ姿勢の育成
- 自らの考えをもち、互いに伝え合い、高め合う授業づくり
- 仲間とともに学ぶ喜びを実感できる授業づくり

3 「個に応じた支援・指導」の充実

- 特別支援協力員との連携による個別支援
- 特別支援学級での個に応じたきめ細かな指導

○現職教育や「まなティータイム」による教師力・授業力アップ

健やかな体の育成

体力の向上や望ましい生活習慣の定着を図り、健康で安全な生活を送るための基礎を育てます。

1 望ましい生活習慣の育成

- 食育指導「早寝・早起き・朝ごはん」の充実
- 養護教諭を中心とした全教職員による保健指導
- 心と体に関するアンケートによる実態把握
- フッ化物洗口等を含む歯科指導
- 各学級での姿勢指導



2 安全教育の充実

- 教育活動全体を通した自ら安全に行動できる児童の育成及び安全管理
- 「自分の命は自分で守る」意識の徹底
- 通学団会・ミニ通学団会による指導
- 避難訓練・KYT(危険予知トレーニング)・セルフディフェンスの充実

3 体力づくり活動の推進

- 体育の授業や放課の過ごし方の工夫(運動量の確保、外遊びの奨励)

信頼される学校づくりを目指して

学校運営協議会を核として家庭や地域と連携・協働して、地域とともにある、児童が笑顔で安心して学べる学校づくりを推進します。

校内現職教育の充実を図り、自律的・継続的な学びをすすめ、教員としての資質の向上に努めます。

1 安全・安心な学校環境の整備

- アンケートや学校評価の活用、現職教育の充実

2 学校公開など開かれた学校づくりの推進

- 学校公開や学校ウェブサイトの充実

3 家庭・地域との連携・協働の推進

- 学校運営協議会、学校応援ボランティアの活用

4 職員が子どもたちと向き合うための条件整備

- 健康管理を意識した働き方改革の推進

「自分にはよいところがある」と答える割合
「ある」「どちらかといえばある」→88%(R6:84%)

「授業がよくわかる」と答える割合
「よく分かる」「だいたい分かる」→80%(R6:76%)

「体を動かすことが好き」と答える割合
「好き」「どちらかといえば好き」→92%(R6:89%)

「学校が楽しい」と答える割合
「楽しい」「どちらかといえば楽しい」→95%(R6:92%)